

8 健康・安全について

(1) 傷病が発生した場合

- 団体で救急用品を準備し、参加者に対しては、常備薬を携行するよう指導してください。
原則として、医薬品はお渡しできません。
- ケガや疾病が発生した場合は、応急手当をするとともに事務室へ連絡してください。
(該当者の氏名、年齢、症状等)
- 自然の家事務室奥には医務室があり、ベッド2台が備えてあります。団体責任者等が付き添いの上、ベッドで休養することができます。医務室を利用する場合は、「傷病記録」に必要事項を記入していただきます。
- AED（自動体外式除細動器）は、事務室と不動棟に配置しています。
- 患者の病院への搬送は、各団体にお願いします。受診後は、事故の状況や診断結果等を必ずお知らせください。
- 医療機関の連絡先はP10をご覧ください。

(2) 安全管理について

- 野外活動時に天候の急変やその他の緊急事態が発生した場合には、自然の家へ無線機・携帯電話等で連絡を入れてください。
- 春～秋にかけて、周辺には熊やハチが出没する可能性があります。敷地内であっても、森の中では単独行動を避け、登山等の野外活動を行う際は、熊よけの鈴（熊鈴）やポイズンリムーバー（毒吸引器）を携帯ください。
(事務室にて無料で貸し出し可)
- 非常口、避難経路、消火器の位置をあらかじめ確認し、非常の際は職員の指示に従ってください。

9. その他

- 貴重品は、各団体で管理をお願いします。また、自然の家事務室前に貴重品保管庫やコインロッカーがありますので、ご利用ください。
- 緊急時を除いて電話の取り次ぎはしておりません。連絡事項は伝言いたします。
- 乾燥室にて、洗濯物を干すことができます。
- 器物の破損、紛失等があった時は、すみやかに事務室に届け出てください。（状況によっては弁償をお願いします）
- 飲酒は原則としてできません。情報交換会等、プログラム上必要となった場合には、活動計画表に予め明記し、事前に自然の家に届け出を行っている場合のみ許可いたします。
- バス乗務員等の宿泊はできません。カメラマンやバス乗務員等の宿泊場所については、最寄りの民間宿泊施設をご案内していますが、手配等については、団体の方で対応いただきますようお願いいたします。
- 花火は禁止です。また、ペットの持ち込みはご遠慮ください。
- 水道の蛇口をこまめに閉めたり、外出時の部屋の電気を消したりするなど、節水、節電、省エネにご協力ください。
- 施設を正しく利用いただけない場合は、利用をお断りし、今後の利用についてもお断りさせていただく場合がございます。